

『新しい歴史学のために』第293号 特集「さらに新しい歴史学をめざして」合評会

日時 2019年1月20日(日) 午後2時～6時頃

会場 キャンパスプラザ京都6階第1講義室 JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

プログラム 報告20分 討論15分 司会：田中聡（立命館大学）

浅野咲 「律令国家史研究の課題と展望－王権と氏族の関係を中心として」
評者：中村聡氏（立命館大学）

星優也 「中世神話と歴史学－桜井好朗の神話研究をめぐる」
評者：渡勇輝氏（佛教大学）

平野明香里 「日本近代史学史と〈信仰〉－平泉澄を中心に」
評者：同上

木下光生 「村・小農・農業の長期史－〈先進－後進〉史観からの脱却」
評者：伊故海貴則氏（立命館大学）

富山仁貴 「いま、戦後における地域社会運動の歴史を研究するということ」
評者：鎌倉祥太郎氏（大阪大学）

高田雅士 「国民的歴史学運動を問うことの可能性」
評者：同上

- 『新しい歴史学のために』第293号は1月上旬の刊行予定です。
- 参加費無料・事前予約不要。皆様のご参加をお待ちしております。